

A 会場 ビッグサイト TFT ホール 1000

9:00 ~ 9:50

特別講演

座 長：望月 眞弓（慶應義塾大学薬学部）

SL 創薬、臨床開発、医薬品適正使用におけるリバーストランスレーショナルリサーチ (rTR) の重要性

杉山 雄一（理化学研究所 イノベーション推進センター）

9:50 ~ 11:50

シンポジウム 1

薬学出身者に求められるリバーストランスレーショナルリサーチ

オーガナイザー：鈴木 洋史（東京大学医学部附属病院薬剤部）

座 長：鈴木 洋史（東京大学医学部附属病院薬剤部）
水島 徹（慶應義塾大学薬学部）

S1-1 医薬品適正使用から医薬品創成へ：分子標的薬を例として

本間 雅（東京大学医学部附属病院薬剤部）

S1-2 ドラッグリポジショニング

水島 徹（慶應義塾大学薬学部）

S1-3 「Physical Medicine」の臨床的有用性とその科学的エビデンス

甲斐 広文（熊本大学大学院生命科学研究部 遺伝子機能応用学分野）

S1-4 ゲノム解析から医療へ貢献する：薬剤応答遺伝子を中心に

徳永 勝士（東京大学大学院医学系研究科人類遺伝学分野）

14:40～16:40

シンポジウム 5

がん薬物治療に関する基礎ならびに臨床研究

オーガナイザー：谷川原祐介（慶應義塾大学医学部臨床薬剤学）
座 長：谷川原祐介（慶應義塾大学医学部臨床薬剤学）
寺田 智祐（滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部）

- S5-1 オキサリプラチンによる末梢神経障害の臨床的課題に対する基礎薬学的研究
松尾 宏一（福岡大学薬学部実務薬剤学教室）
- S5-2 血液がん化学療法における医師と協働した薬剤師による後ろ向き臨床研究
内田まやこ（九州大学病院薬剤部）
- S5-3 ホスアプレピタントによる血管障害に関する後ろ向き研究
佐藤由美子（名古屋市立西部医療センター薬剤科）
- S5-4 スニチニブ高血中濃度患者における ABCG2 遺伝子多型解析
寺田 智祐（滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部）
- S5-5 CYP2D6 遺伝子型に基づくタモキシフェンの個別化投薬を目指した前向き臨床試験
今村 知世（慶應義塾大学医学部）

17:10～18:00

教育講演 1

座 長：千堂 年昭（岡山大学病院薬剤部）

- EL-1 がんの代謝システム制御
～先端質量分析技術により明かされたあざとい生存戦略～
末松 誠（慶應義塾大学医学部医化学教室）
科学技術振興機構 ERATO 末松ガスバイオロジープロジェクト研究総括）

B 会場 ビッグサイト TFT ホール 500

9:50～11:50

シンポジウム 2

感染症治療の問題点とその克服 ～基礎ならびに臨床から～

オーガナイザー：木津 純子（慶應義塾大学薬学部実務薬学講座）
座長：木津 純子（慶應義塾大学薬学部実務薬学講座）
堀 誠治（東京慈恵会医科大学感染制御部）

- S2-1 今 感染症治療が抱える問題点とは
堀 誠治（東京慈恵会医科大学感染制御部）
- S2-2 バイオフィルム形成による治療抵抗性をしめす感染症（Device-related infection）
とその克服
水之江義充（東京慈恵会医科大学細菌学講座）
- S2-3 耐性菌の出現とその抑制
後藤 直正（京都薬科大学 微生物・感染制御学分野）
- S2-4 新しい抗微生物薬の開発の可能性
平井 敬二（杏林製薬株式会社）

14:40 ~ 16:40

シンポジウム 6

医薬品情報の基礎と臨床研究 〈思い出にひたり、今に怒って、将来へ提言する〉

オーガナイザー：澤田 康文（東京大学大学院薬学系研究科医薬品情報学講座）
座長：折井 孝男（NTT 東日本関東病院薬剤部）

S6-1 医薬品情報の思い出

平井みどり（神戸大学医学部附属病院薬剤部）

S6-2 医薬品情報から遡及した創薬 —金属製剤と併用可能なキノロン薬—

松山 賢治（近畿大学薬学部）

S6-3 ? ! ? 医薬品情報 ? ! ?

政田 幹夫（福井大学病院薬剤部）

S6-4 著書と社会貢献からみる医薬品情報

澤田 康文（東京大学大学院薬学系研究科医薬品情報学講座）

C会場 ビッグサイト TFT ホール 300

9:50～11:50

シンポジウム3

生薬・漢方薬に関する基礎研究から臨床研究への展開 — 現代医療に活かす生薬・漢方薬 —

オーガナイザー・座長：鳥居塚和生（昭和大学薬学部）
座長：高松 智（昭和大学薬学部）

- S3-1 甘草による偽アルドステロン症に関する基礎研究とその臨床への応用
牧野 利明（名古屋市立大学大学院薬学研究科生薬学分野）
- S3-2 認知症改善作用を有する漢方処方 —基礎研究から臨床応用へ—
矢部 武士（摂南大学薬学部）
- S3-3 生薬が担う歯周炎薬物療法のパラダイムシフト
大島 光宏（奥羽大学薬学部生化学分野）
- S3-4 漢方薬を医療に活かす —ストレス性神経精神疾患の基礎研究からの提言—
武田 弘志（国際医療福祉大学薬学部薬理学分野 先端漢方医薬学教育研究センター）

14:40 ~ 16:40

シンポジウム 7

糖尿病治療に関する基礎ならびに臨床研究について

オーガナイザー：厚田幸一郎（北里大学病院薬剤部）

座長：厚田幸一郎（北里大学病院薬剤部）

家入 一郎（九州大学大学院薬学研究院薬物動態学分野）

S7-1 薬物動態関連分子が絡む薬物相互作用・遺伝子多型が糖尿病治療薬の薬物動態・薬効・副作用に及ぼすインパクト

前田 和哉（東京大学大学院薬学系研究科）

S7-2 母集団薬効動態解析による医薬品適正使用情報の創成と個別化への展開
—糖尿病関連治療薬を中心として—

家入 一郎（九州大学大学院薬学研究院薬物動態学分野）

S7-3 外来服薬指導で得られた情報に基づく臨床研究

西村 博之（医療法人社団陣内会陣内病院薬剤部）

S7-4 薬局薬剤師による 2 型糖尿病腎症患者に対する重症化予防を目的とした介入研究

井上 岳（北里大学薬学部薬物治療学Ⅲ）

D 会場 東館9F 研修室 908

9:50 ~ 11:50

シンポジウム 4

薬剤経済学を臨床で役立てるには

オーガナイザー：池田 俊也（国際医療福祉大学薬学部）
座長：亀井美和子（日本大学薬学部）
池田 俊也（国際医療福祉大学薬学部）

S4-1 薬剤経済学の基本を理解する

池田 俊也（国際医療福祉大学薬学部）

S4-2 リウマチの治療と薬剤経済学

五十嵐 中（東京大学大学院薬学系研究科医療政策学）

S4-3 がん治療と薬剤経済学

白岩 健（国立保健医療科学院医療・福祉サービス部）

S4-4 COPD の治療と薬剤経済学

赤沢 学（明治薬科大学公衆衛生・疫学教室）

14:40～16:40

シンポジウム 8

薬学教育6年制における卒業研究 ―医療薬学分野の現状と課題―

オーガナイザー：伊藤 清美（武蔵野大学薬学部）
座 長：青山 隆夫（東京理科大学薬学部）
伊藤 清美（武蔵野大学薬学部）

S8-1 医師と連携する臨床ニーズに基づいた卒業研究

富岡 佳久（東北大学大学院薬学研究科）

S8-2 医薬統合をふまえた臨床・基礎研究：医療薬学研究の活性化に向けて

野田 幸裕（名城大学薬学部病態解析学Ⅰ）

S8-3 明治薬科大学における卒業研究の現状と展望

吉田 久博（明治薬科大学）

S8-4 薬局基盤の医療薬学研究 ～卒業研究と臨床倫理～

飯嶋 久志（千葉県薬剤師会 薬事情報センター）

A 会場 ビッグサイト TFT ホール 1000

9:00 ~ 11:00

シンポジウム 9

薬剤疫学：文献の批判的吟味と研究のヒント

オーガナイザー：佐藤 嗣道（東京理科大学薬学部）
座長：中村 敏明（福井大学病院薬剤部）
佐藤 嗣道（東京理科大学薬学部）

- S9-1 対象集団とデータベース
小出 大介（東京大学大学院医学系研究科臨床疫学研究システム学講座）
- S9-2 バイアスの例と対処法
佐藤 嗣道（東京理科大学薬学部）
- S9-3 交絡の例と対処法
山口 拓洋（東北大学大学院医学系研究科医学統計学分野）
- S9-4 スタチンの薬剤疫学研究（JSS）
大場 延浩（日本大学薬学部）
- S9-5 病院の診療情報データベースを利用した研究の実例
堀 雄史（浜松医科大学医学部附属病院薬剤部）
- S9-6 研究と診療のギャップを埋める
中村 敏明（福井大学病院薬剤部）

13:10 ~ 14:00

教育講演 2

- 座長：大戸 茂弘（九州大学大学院薬学研究院薬剤学分野）
- EL-2 「統計」にだまされないために
大橋 靖雄（中央大学理工学部人間総合理工学科）

14:05 ~ 16:05

シンポジウム 13

次世代の薬と治療の定量化

オーガナイザー・座長：山崎 浩史（昭和薬科大学薬学部）
松本 宜明（日本大学薬学部）

- S13-1 小児薬用量をどう科学する？ —臨床における Modeling & Simulation の活用—
福田 剛史（米国シンシナティ小児病院医療センター臨床薬理部門）
- S13-2 レボカルニチンを使う透析患者さんの体臭を科学する —個の医療—
山崎 浩史（昭和薬科大学薬物動態学研究室）
- S13-3 見えないものを見る薬物動態 —質量顕微鏡を用いた創薬研究—
濱田 哲暢（国立がん研究センター研究所 TR 総合支援グループ 臨床薬理部門）
- S13-4 抗体医薬品開発を効率的に進めるバイオマーカーの応用
寺尾 公男（中外製薬株式会社 臨床企画推進部）
- S13-5 ヒトの感覚を数字に表現する —かゆみを数字に表わす新しい技術—
上田 哲也（株式会社 LSI メディエンス 診断検査事業本部 臨床検査事業部
事業戦略部 開発グループ）

B 会場 ビッグサイト TFT ホール 500

9:00～11:00

シンポジウム 10

地域薬局が担うこれからの臨床研究 ～薬剤師主導の研究とエビデンスに期待するもの～

オーガナイザー：木内 祐二（昭和大学薬学部）
座長：木内 祐二（昭和大学薬学部）
亀井美和子（日本大学薬学部）

- S10-1 薬局薬剤師主導の研究とエビデンスへの期待
木内 祐二（昭和大学薬学部）
- S10-2 地域薬局ベースの研究の方向性 ～海外の研究事例を参考に～
亀井美和子（日本大学薬学部）
- S10-3 患者本位の薬局業務がもたらすアウトカムを可視化するために
恩田 光子（大阪薬科大学薬学部）
- S10-4 地域医療の貢献につなげよう、薬局主導の臨床研究の成果と課題
篠原久仁子（フローラ薬局河和田店）
- S10-5 始めてみよう、地域薬局での臨床研究 ～薬剤師主導の臨床研究のプロセス～
倉田なおみ（昭和大学薬学部社会健康薬学講座地域医療薬学部門）

14:05 ~ 16:05

シンポジウム 14

研究推進のためのインフラ整備 —研究倫理と研究費獲得—

オーガナイザー・座長：黒川 達夫（慶應義塾大学薬学部）
水島 徹（慶應義塾大学薬学部）

S14-1 研究推進のためのインフラ整備 —研究倫理と研究費獲得—

水島 徹（慶應義塾大学薬学部）
黒川 達夫（慶應義塾大学薬学部）

S14-2 京浜臨海部からのスマートヘルスケア社会への挑戦

木村 廣道（公益財団法人川崎市産業振興財団 ものづくりナノ医療イノベーションセンター 東京大学大学院薬学系研究科ファーマコビジネス・イノベーション教室）

S14-3 医療薬学の研究推進を取り巻く環境について

中垣 俊郎（国立医薬品食品衛生研究所）

S14-4 臨床研究を巡る昨今の状況について

河野 典厚（厚生労働省医政局研究開発振興課治験推進室）

C会場 ビッグサイト TFT ホール 300

9:00 ~ 11:00

シンポジウム 11

個別化医療におけるトランスポーター情報の活用

オーガナイザー：中島 恵美（慶應義塾大学薬学部薬剤学講座）
座長：中島 恵美（慶應義塾大学薬学部薬剤学講座）
崔 吉道（金沢大学附属病院）

- S11-1 生体膜薬物輸送研究におけるタンパク質絶対定量情報の活用
立川 正憲（東北大学大学院薬学研究科）
- S11-2 がん細胞に発現するトランスポーターと化学療法
中西 猛夫（金沢大学医薬保健研究域・薬学系）
- S11-3 薬物胎児移行支配要因としての胎盤トランスポーター
登美 齊俊（慶應義塾大学薬学部薬剤学講座）
- S11-4 リボフラビントランスポーター RFVT 変異による希少疾患 BVVLS の発症
米澤 淳（京都大学医学部附属病院薬剤部）
- S11-5 高尿酸血症・痛風と ABCG2/BCRP 遺伝子多型
高田 龍平（東京大学医学部附属病院薬剤部）

14:05 ~ 16:05

シンポジウム 15 若手研究者受賞講演

次世代へ向けた医療薬科学研究の進展：
学際的研究の推進による医療薬科学研究のパラダイムシフト

オーガナイザー・座長：立川 正憲（東北大学大学院薬学研究科）
小柳 悟（九州大学大学院薬学研究院）

- S15-1 バイオマーカー探索技術を用いた LC-MS/MS 法による血中インフリキシマブ濃度測定法の確立
中村 浩規（群馬大学医学部附属病院薬剤部
群馬大学大学院医学系研究科器官代謝制御学講座臨床薬理学分野）
- S15-2 マウス炎症性疾患モデルを用いた脳毛細血管における接着分子の標的定量プロテオミクス解析
佐藤 和貴（東北大学薬学部）
- S15-3 脳内アミロイドβクリアランスにおけるインスリン感受性分解機構と脳関門排出輸送の寄与
伊藤 慎悟（熊本大学大学院生命科学研究部微生物薬学分野）
- S15-4 生理的機能を考慮した経鼻吸収予測システムの構築
井上 大輔（就実大学薬学部）
- S15-5 The influence the dosing time-dependent change in the antitumor effect of Transferrin liposome Oxaliplatin (Tf-Lipo-L-OHP)
岡崎 史泰（富山大学大学院医学薬学研究部（薬学）医療薬学研究室）

D 会場 東館9F 研修室 908

9:00 ~ 11:00

シンポジウム 12

半固形製剤を科学する —優れた院内製剤を創るために—

オーガナイザー：米持 悦生（星薬科大学医薬品化学研究所）
座 長：井上 裕（城西大学薬学部）

S12-1 半固形剤の将来像

稲木 敏男（興和株式会社医薬事業部研究本部）

S12-2 分光学的手法を用いた半固形製剤の評価

山本 佳久（帝京平成大学薬学部）

S12-3 半固形製剤の物性評価における MRI の有用性

大貫 義則（星薬科大学薬剤学教室）

S12-4 ステロイドとヘパリン類似物質軟膏の混合製剤の物性およびステロイドの放出性評価
- ステロイド軟膏の後発医薬品の変更と軟膏の混合に関する注意点 -

内野 智信（静岡県立大学薬学部臨床薬剤学分野）

13:10～16:25

ワークショップ

静脈栄養療法をもう一度学びたい薬剤師のための輸液処方設計講座

オーガナイザー：増田 修三（尾道市公立みつぎ総合病院地域医療部）
座 長：大川 浩子（金沢赤十字病院薬剤部）
増田 修三（尾道市公立みつぎ総合病院地域医療部）

WS-1 身近に感じることから始める輸液栄養

東 敬一郎（金沢市立病院薬剤室）